

「参加型授業通信 2015」について

「参加型授業通信 2015」は、本校副校長が、参加型授業を推進するため、校内の先生方に向けて発行しているものです。先生方に伝えたいことや参考にしてほしいポイント等、授業に関する話題を掲載しています。2015年度は最終的にN o. 17まで発行しました。概要は以下のとおりです。

N o	発行日	概要
1	5/18	「参加型授業」今年度の方針等 ・「生徒のために参加型 だれでもできる参加型 みんなでやろう参加型」 ・授業を見合う取組 ・有志の会「参加型授業研究会」
2	5/25	化学の授業報告 ・冒頭の参加型おさらい ・I C T機器やアニメーションの活用 ・参加型により生徒が達成感を持つ展開
3	5/29	倫理の授業報告 ・単元のまとめとしての活用で参加型 ・「ペア活動」の前に「個人思考」 ・「導入-展開-まとめ」の一貫性ある構成
4	6/8	英語の授業報告 ・G O A Lの明示、w a r m—u pの有効性 ・3人一組による英語ディベート ・指導者のポジティブな姿勢
5	6/11	現代文の授業報告 ・めあての提示 ・明確なねらいを持ち、練られた発問 ・個人による深い思考が印象的な、静かな参加型授業
6	7/14	英語、音楽の授業報告 ・勇気ある参加型への一歩 ・「授業観の崩壊」を経て ・表情は授業づくりの第一
7	8/18	数学の授業報告 ・誤りを許容する、活かす集団づくり ・机間巡視で生徒を観察し、その後の展開を考えよう ・参加型は、生徒を信じること、信じ続けること
8	9/11	政治経済の授業報告 ・生徒が教員役で授業を行う ・事前の明確な指示、班ごとに競わせる等巧みなしかけ ・活発な協働での学習
9	9/16	県教委主催「中高連携学力向上協議会」報告 ・教科の枠を超えた学校全体の横断的な取組や校種を超えた縦断的な取組 ・良い授業と悪い授業の見分け方 ・小、中学校の先生方の思いをひきつごう
10	10/20	地学の授業報告 ・まだ集中してない生徒たち・・・どうする？ ・吟味した教材が持つ力を認識しよう。I C Tより有効な場合も ・生徒に見通しを与えることは極めて大事な視点

11	11 / 20	<p>地理Bの授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を終え、受験を意識した演習でも参加型 ・異なる活動の組み合わせでめりはりを出す ・参加型の試行錯誤を続けよう
12	12 / 7	<p>数学Bの授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のテーマは「理想の答案をつくる」 ・答案、採点基準、採点を班で。 ・なぜその採点基準かを、発表させる
13	12 / 16	<p>古文の授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒をよく見る、生徒との真の「やりとり」を非常に大事にしている ・抜群の信頼感が育つポイント ・一貫性ある構成と適切な負荷による達成感
14	12 / 17	<p>大学の先生方からのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニングは、「習得・活用・探究」全段階に関係 ・学問分野特有のアクティブ・ラーニングALと、ペアワーク等教科横断的なアクティブ・ラーニングALを今後も追究 ・現在の教育政策の2つの特徴
15	2 / 9	<p>日本史の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確な問いを柱にする ・常に生徒から視線を外さない ・歴史上の出来事や人物を、普通感覚・感情をもとに説明する
16	2 / 18	<p>数学の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学科のチームワーク ・学び合いのための道具（出席番号シール） ・積極的な生徒指導の側面がある授業
17	3 / 18	<p>副校長の編集後記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTが機能し始めた ・組織的になってきた ・全ての教室にタイマーが入るので参加型授業に活用を